

# 寺報

発行 福島市田沢字寺前18

長秀院・仲興寺

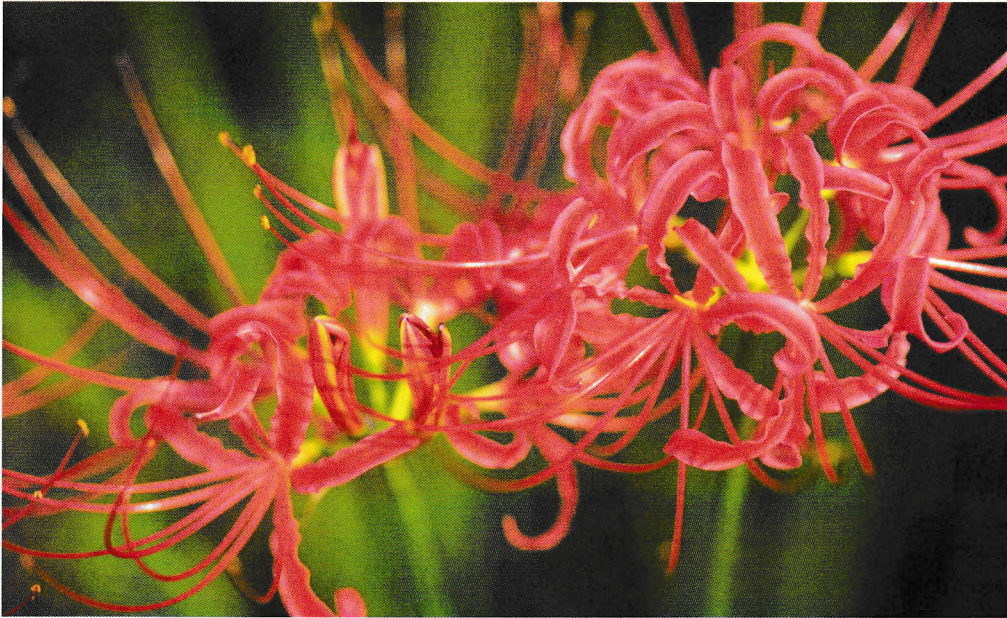
TEL 024(548)1240

FAX 同上

ホームページ <http://www.choshuin.jp/>

e-mail [info@choshuin.jp/](mailto:info@choshuin.jp/)

編集責任 渡辺 祥文



# 秋彼岸会

あき ひ がん え

「彼岸」という行事は日本  
独特の仏教行事です。

彼岸という言葉は、「彼岸」という悟りの世界をあらわします。自分たちが今いる世界は、「比岸」「比の岸」つまり煩惱の中にある世界をいいます。

かつての日本人が現実のこの世を観察し、自分自身を凝視して、「いつかは彼岸、悟りの世界に到達しますように」と願ったところから、春分と秋分の穏かな季節に、仏教の目指す「中道」極端にかたよらない、節度のある丁度良い道を歩む」の生き方を重ねて、一週間の修行期間をつくりだしたものです。

日々を歩む中で、大切な秋彼岸会です。

## 案内板

仲興寺

秋彼岸会念仏法要

○九月十三日(木)

午前十時より

長秀院

そばを食べる会

洗心講座法話

○十一月十八日(日)

午前九時より

旅行会

大本山永平寺参拝

「秀憲師激励参拝」

○十二月十二日(水)

〜十四日(金)

梅花流福島県奉詠大会

○十月二十六日(金)

郡山市熱海町

「ユラックス熱海」



平成三十年 秋彼岸会

山主拝

# 弟子秀憲の永平寺便り

秀憲本人から七月初旬二回目の便りがきました。携帯電話等（P・C・タブレッツト等も）一切禁止なので郵便で手紙が来ました。人生二度目の親への手紙です。現代の若者は、全てメールが中心です。改めて手紙や葉書をしたためるといふことはほとんどありません。通信手段がないので仕方なく必要な夏の衣類等を送って欲しいという手紙です。

## 白山拝登

永平寺の雲水は、七月に白山に拝登します。

霊峰白山は古代より北陸の守護として、またその雪どけ水は地域を潤す大切な霊水としてあがめられていました。道元禅師が永平寺を開いたところから水の恵みは白山によるものとして「白山水」として、いわゆる水神様を守る形でおまつりしていました。よって雲水の全体の守りの善

神「白山妙理大権現」としてそのお軸を

一人一人携えています。秀憲上山の折も持たせました。勿論師匠である私祥文が書いたものもあるのですが、私が師匠憲一から授けられたお軸を持たせました。弟子師匠の關係があれば、祖父にあたる師匠のものでも良いのです。

平成十六年の春、秀憲が大きな声で本堂において問答の練習をしているとき、憲一方丈は脇でその様子をじっと見ていました。一時間二時間と経つても、動かずにじっと秀憲の様子を見ていました。一通り終わると、何度もうなずきながら秀憲に「しつかりやれヨ。」とやさしく語りかけていました。秀憲も祖父が不自由な脚を引きながら、自分の練習をじっと見ていることに何か感じたのでしよう。素直に聴いていました。一通り話し終わると私の方を向いて一言つぶやきました。「この子が一人前のお坊さんになる姿を見

たいもんだなあ……。でも、まあ、無理だべなあ……。」そのとき憲一方丈は、一人前の雲水になった秀憲の姿を想像していたのかもしれない。

私が永平寺に上山する時、憲一方丈は、こんなこともいいました。

「順調に永平寺に上って、修行を終えてくれば、この寺ではじめて永平寺へ登った（修行した）住職になる、頑張ってくれ。」かつては、遠くへ修行へ行くなど経済的にも物理的にも不可能でした。近隣の道場に十三〜十七歳ぐらいで修行した人々が多いのでした。

白山大権現は、曹洞宗寺院の境内地には必ずまつてあります。「白山様のお山の下、道元禅師様のおひざもとに行けるのは幸せだ」と思つて上山しました。そして、本山の修行中に二夏連続で拝登しました。

弟子秀憲も白山を拝登し、ご来光を拝み、永平寺の守護である白山様のお姿を体験したことと思います。

標高三千メートルの山頂で雲海を下に見て、修行の尊さを教えてくれたと思えます。

（祥文拝記）

あき ひ がん え  
秋彼岸会総供養会

仲興寺・日時 平成三十年九月十三日(木)

午前十時より

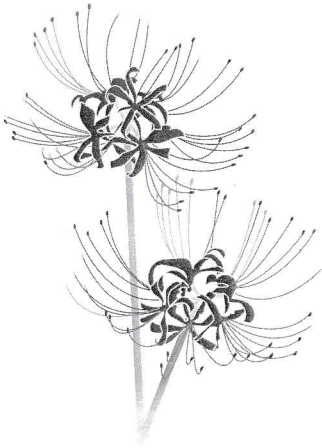
- ・仲興寺秋彼岸会
- ・清水町念仏講お念仏
- ・場所 仲興寺本堂において

秋彼岸会の総供養をおつとめいたします。また、念仏供養をあわせて皆でおつとめ致します。

平成三十年九月秋彼岸会

山主 拝

檀信徒各位



本年度の旅行会のお知らせ

●日時

平成三十年十二月十二日(水)

～十四日(金)

●大本山永平寺

定員 四十名(最少催行数三十名)

●申込〆切 十一月二十日

大本山永平寺に参拝・参籠をし、「特別供養」を長秀院・仲興寺として早朝におつとめして頂きます。

現在永平寺には弟子秀憲が安居修行中であり、役員の皆様から「激励に行きたい」「修行中の姿に接したい」との要望を頂きましたので旅行を挙行致します。また北陸の曹洞宗の歴史的に大切な寺院を巡拝いたします。






# 大本山永平寺参拝 — 秀憲師激励参拝 —

旅行期日 平成30年12月12日(水)～12月14日(金)2泊3日

旅行代金 お一人様 59,500円 ※永平寺特別供養料を含みます

募集人員 40名(最少催行人員30名)

【コース】 ※全行程貸切バス利用です。利用バス:大和自動車交通(株)

主な日程		食事
12月12日(水)	6:30出発 長秀院＝仲興寺前＝福島西IC＝  ＝<東北・磐越・北陸道>＝ (昼食) 16:00頃 滑川市内＝<北陸道>＝大本山永平寺(宿坊泊)	☒ ☒ ☒
12月13日(木)	9:00出発 (参拝) (昼食) 大本山永平寺＝  ＝御誕生寺(瑩山禅師御生誕寺)＝九谷満月＝ (参観) 17:15頃 永光寺＝和倉温泉(泊)	☒ ☒ ☒
12月14日(金)	8:30出発 (お買物) (参観) 和倉温泉＝  ＝ひみ番屋街(道の駅氷見)＝瑞龍寺(国宝)＝ (昼食) ＝ますのすし本舗源＝富山IC＝<北陸・磐越・東北道>＝ 20:00頃 福島西IC＝仲興寺前＝長秀院	☒ ☒ ☒

※当日の交通状況により行程を変更する場合があります。(約90分おきに休憩有)

※人数確定後、集合場所及び時間を記載した最終日程表をお届けいたします。

## 【申込締切】

11月20日または人員に達し次第締切とさせていただきます

## 【申込方法】

お寺までお申込み下さい  
(必ず、手紙・FAX・葉書・メール等の残る形で申し込みください。)

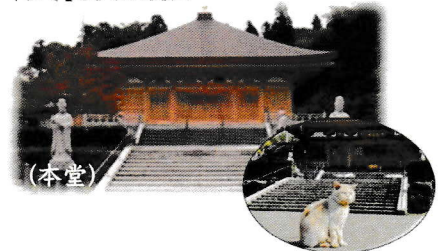
【添乗員】 全行程同行いたします

## 【利用ホテル】

大本山永平寺 宿坊  
<4～6名または大部屋の和室利用>  
日本の宿 のど楽  
<4～6名の和室利用>

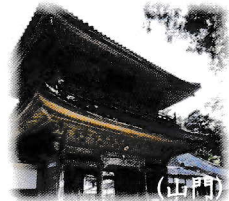
## 御誕生寺(ごたんじょうじ)

「猫寺」としても知られています。  
現在の本堂が完成したのは2009年のことで、  
寺の建設中に捨て猫を4匹拾ったことが  
「猫寺」としての始まり。



## 永光寺(ようこうじ)

曹洞宗の太祖(たいそ)  
とされる瑩山紹瑾  
(けいざんじょうきん)が、  
正和元(1312)年に  
開いた古刹(こさつ)



## ひみ番屋街

地場で獲れた新鮮な鮮魚から、手の込んだ  
加工食品に至るまで、富山湾の海の幸を  
満喫できる店舗がずらりと並びます。



旅行企画	<b>長秀院 仲興寺</b>
	〒960-8156 福島市田沢字寺ノ前18(長秀院) TEL 024-548-1240

受注企画	福島県知事登録旅行業3-130 総合旅行業務取扱管理者 佐藤 功
	(株)福島ビーエス観光 〒963-8001 郡山市大町二丁目5-14 TEL 024-923-6098

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不審な点があればご連絡なく管理者にお訊ね下さい。